

# おひさま サタダ

2011



vol.105

10



## はいっポーズ!

《訓子府地区・緑丘》

あや ねね さな  
藤森彩さんと寧々ちゃん・紗奈ちゃん

(紹介は2ページです)

### 特集

- 小山さん飼育牛  
グランドチャンピオンの栄冠に輝くー全道共進会ー
- 平成23年度 玉葱と馬鈴薯の需給動向

# 季節の薫り



## 白菜の収穫

緩やかな傾斜地の畑に、緑の葉が締まった白菜が一面に広がる。

さわやかなオホーツクブルーの空の下で、夫婦揃って収穫作業に励む。1個ずつ手で白菜に触って、出来具合を確認して包丁を入れる。

作業をじっと見つめていると、「ねえー、今年の白菜、実がしまっていていいよね!」、「そうだなあ、夏から手間をかけたからな」、「今晚、白菜のポカポカ鍋でも作ろうか?」、「うん、いいね」という楽しい会話をしているように写った。

糖質が少なくカロリーが低く、ダイエット向けの食材。いろいろな栄養素が微量ではあるが、まんべんなく含まれている。

おひたし、ロール巻き、キムチ漬、鍋料理などと万能野菜だ。

朝晩、すっかり冷え込む季節となった。今日の夕食は、白菜など使った温かい鍋料理を家族で味わってみませんか!

【写真は9月26日、北見地区・上仁頃の三宅弘好さんの畑で撮影。三宅さんは、白菜の栽培を始めて10数年経過し、今季は3畝作付け。三宅さんは「今年は品質、量ともに上々」と笑顔で話してくれました】



## 表紙紹介

### 笑顔が家族に元気を!

この時は、馬鈴薯の収穫作業で忙しい藤森さん宅。でも1日の作業を終えて家にあがると、寧々ちゃんのお父さん、おじいちゃんも吹っ飛ばしとお父さん、おじいちゃんおばちゃんがお揃いで話してくれました。これからどんどん大きくなっていく寧々ちゃんとお父さん、お母さんの笑顔が「友だちをいっぱいつくって、元気な子に育ってくれれば最高です」と優しく話してくれました。

澄み切った青空、緑肥作物の緑も映え、撮影に最高の天気となった9月29日、約束の時間に到着。1歳5ヶ月の寧々ちゃん「どこの人だろ?」と不思議そうな顔をして迎えてくれました。でも、ちょっとお話しをしたり遊んだりすると、ニコニコした表情になりました。テレビに「いないいないばあ」や「おかあさんといっしょ」が入ると、画面の子どもたちといっしょになって踊る寧々ちゃん、8月24日に妹の紗奈ちゃん生まれ、お姉ちゃんになりました。豆腐が大好きで、おかずは豆腐が入っていると、先に豆腐を食べてしまうほどです。



【ご家族紹介】

前列左から～おばあちゃんの幸江さん(53)と次女の紗奈ちゃん(1ヶ月)、ひいおばあちゃんの光子さん(78)、おじいちゃんのお光秋さん(55)と長女の寧々ちゃん(1歳5ヶ月)。後列左から～お母さんの彩さん(28)とお父さんの秀志さん(29)藤森さんは、小麦、馬鈴薯、てん菜の畑作三品を約30%作付けしています。



## もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「サンマのハーブパン粉焼き」 「タラのカレークリーム煮」	24
○JAからのお知らせ	20
○青年女性ネットワーク	18
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私のパートナー</li> <li>・わが家のアイドル</li> <li>・大きくなったら</li> <li>・おらがまちのおしどり夫婦</li> <li>・まちがいがし</li> <li>・読者の声</li> </ul>	14
○ほのぼのの広場	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・きたみらいのホープさん</li> <li>・思い出の写真</li> <li>・マイティスト</li> <li>「木工細工」</li> </ul>	10
○JAきたみらい ホットライン東西南北	10
○表紙紹介 「笑顔が家族に元気を」	2
○季節の薫り	2
<b>特集①</b> 小山さん飼育牛 グランドチャンピオンの栄冠に 輝く―全道共進会―	4
<b>特集②</b> 平成23年度 玉葱・馬鈴薯の需給動向	6

集

特

# 小山さん飼育牛

## グラント チャンピオンの栄冠に輝く

第15回北海道総合畜産共進会



▲グラントチャンピオンを獲得したホルスタイン「RCP チャンピオン」シドニー ET」と小山さん

第15回北海道総合畜産共進会の乳用牛部門が9月3、4日の両日、胆振管内安平町で開催されました。ホルスタインの部では、当JA管内・置戸町川南の小山勇樹さん（32）が育てた「RCP チャンピオン J シドニー ET」がグラントチャンピオンに輝きました。乳器や骨格が高評価を受け、全道から集まった395頭の頂点に立ちました。

## JAきたみらいから 24頭の乳牛が出品

全道共進会には、道内各地区を勝ち上がった選りすぐりの乳用牛426頭が出品し、当JAからも24頭が出品しました。

ホルスタイン種の部門に、今回から新たにシャーシ種部門も設けられ、カナダケベック州の酪農家カラム・マッキンベン氏が主任審査委員を務めました。年齢、未経産や経産別に19部門に分かれ、乳牛の骨格や体型

乳房を含めた資質評価により審査されました。

グラントチャンピオンには「ローヤルチャンピオンプロジェクト」別掲でプロジェクトを紹介）が出品し、置戸地区川南の小山勇樹さんが生まれた時から育ててきた「RCP チャンピオン J シドニー ET」が栄冠に輝き、「素晴らしい乳器や骨格を持ち、乳房も力強かった」と高

い評価を受けました。

また、北見地区の吉野英之さんが出品した「ヨシノファーム シャーランチエ ダビンチ」が6部未経産シニアクラスで1等1席に輝きました。シャーシ種経産部門では、訓子府地区の渡辺正昇さんが出品した「グリーンパスチャー MC ブイーンデイケーシヨン イワテ」がリザーブ・シニア・チャンピオンを受賞。



▲審査員のカラム・マッキンベン氏が、「RCP チャンピオン」シドニー ET」に触れてグラントチャンピオン牛に決定した瞬間

## きたみらい出品牛 入賞成績一覧表（24頭）

部	クラス(範囲)	入賞序列	名	地区名	出品者
2	未経産ジュニアクラス (生後12ヵ月以上14ヵ月未満)	3等2席	スターマツクス チャンピオン パタフライ	訓子府	安岡 祐一
		2等16席	テイバー チェアマン ブラバント コピア	訓子府	平田 明奈
		2等17席	ピーマンゴールドウインビュローン	上常呂	溝手 義彰
		3等4席	パレルファーム ハツビー ジャグラー	上常呂	神田 修輔
		2等15席	サワノレモンデール ブレーク チャンス	北見	沢野 修吾
3	未経産ジュニアミルククラス (生後14ヵ月以上16ヵ月未満)	2等1席	エリー サマー ヴァカンス	訓子府	森岡えり子
4	未経産ミルククラス (生後16ヵ月以上18ヵ月未満)	1等4席	キヤメリア チャンピオン オリビア ET	相内	南小野牧場
		2等4席	DH エリー ブラッド	北見	山内 誠
5	未経産ジュニアミルククラス (生後18ヵ月以上20ヵ月未満)	1等2席	スターマツクス エコー テイクバック	訓子府	安岡 祐一
6	未経産ジュニアクラス (生後20ヵ月以上22ヵ月未満)	1等1席	ヨソノファーム ジャーランチエ タンチ	北見	吉野 英之
7	後代検定娘牛2歳クラス (生後36ヵ月未満 初産)	3等5席	ローズ WELLS ラビアンローズ	訓子府	ローズエルブ ジェット (森岡・吉野)
8	後代検定娘牛3歳クラス (生後36ヵ月以上48ヵ月未満)	3等6席	ニューバーチ サバーシブラット コピア	訓子府	渡辺 誠
9	ジュニア2歳クラス (30ヵ月未満)	2等8席	パレルファーム プライアー セブン	上常呂	神田 典廣
		3等1席	アポロゴールドウイン ジャネット	北見	南小野牧場
10	シニア2歳クラス (30ヵ月以上36ヵ月未満)	2等6席	ローズウエル PINK ローズ ET	訓子府	ローズエルブ ジェット (森岡・吉野)
		2等7席	ハイリークイン ラスター シーク	訓子府	高倉 昌勝
11	ジュニア3歳クラス (36ヵ月以上42ヵ月未満)	3等1席	テイバー チェアマン ゴールド コピア	訓子府	平田 明奈
		1等5席	DH デボ デイジー マテック	北見	山内 誠
13	4歳クラス (4歳以上5歳未満)	3等5席	ロツクウダーウイン オブ パジヨン ET	北見	上野 牧場
14	5歳クラス (5歳以上6歳未満)	3等5席	ヨソノファーム インカセロイズ	北見	吉野 英之
15	成牛クラス (6歳以上)	1等1席	RCP チャンピオン J シドニー ET	置戸	ローヤルチャンピオンプロジェクト (小山・深田)
17	ジャージ種未経産シニアクラス (生後17ヵ月以上22ヵ月未満)	2等2席	クリーン ジェイン グレン	北見	J-MEGジャージーズ (森岡・上野・山内)
		3等2席	グリーンパスチャ イアトラ エンペラー	訓子府	渡辺 正昇
19	ジャージ種3歳以上クラス (生後36ヵ月以上)	1等1席	グリーンパスチャ MC ウィンディケーシ ヨソノファーム	訓子府	渡辺 正昇

## ホルスタイン種部門 [チャンピオン Rチャンピオン]

範囲	項目	名	市町村	出品者
第1部~第6部	ジュニア・チャンピオン	TMF ブレークウイルデイビスタ	広尾町	佐藤 孝一
	R・ジュニア・チャンピオン	ミッドフィールド HP キヤロル ET	江別市	中田 和孝
第7部~第12部	インターメディアイト・チャンピオン	ハッピーグローリー ダンディー エターナル ET	上士幌町	熊谷 肇
	R・インターメディアイト・チャンピオン	TMF アデイン ダンディー チーフ ET	清水町	南田中牧場
第13部~第15部	シニア・チャンピオン	RCP チャンピオン J シドニー ET	置戸町	ローヤルチャンピオンプロジェクト
	R・シニア・チャンピオン	エルムレーン ファイナル ベスト	恵庭市	南福屋牧場

グランド・チャンピオン	RCP チャンピオン J シドニー ET	置戸町・ローヤルチャンピオンプロジェクト
R・グランド・チャンピオン	ハッピーグローリー ダンディー エターナル ET	上士幌町・熊谷 肇

## ジャージ種部門 [チャンピオン Rチャンピオン]

区分	項目	名	市町村	出品者
未経産	ジュニア・チャンピオン	オールダーラッド B イブニングスター 972ET	剣淵町	石田 守
	R・ジュニア・チャンピオン	アサナバ VR アウルア イチニイチニ	清水町	南田中牧場
経産	シニア・チャンピオン	アサナバ VR ルイスゴールド マリリン	北広島市	岩田 政彦
	R・シニア・チャンピオン	グリーンパスチャ MC ウィンディケーシヨソノファーム	訓子府町	渡辺 正昇

なお、きたみらい出品牛の成績は別表の通りです。

付帯行事として、「ジュニア酪農教室」「リードマンコンテスト」「ヤングリーダーカップ」写真コンテストが開かれ、ジュニアホルスタインクラブから酪農教室に5名、写真コンテストに上野秀俊くん(北見・高1)と神田修輔くん(上常呂・中1)が参加。

神田くんは、ヤングリーダーカップにも参加し、YBCリザーブチャampionに輝きました。

写真コンテストでは、村井敦くん(温根湯・高2)が第1部金賞2席、神田くんは第2部金賞1席に入賞しました。

## ローヤル チャンピオン プロジェクト

カナダで2003年に開催されたローヤル ウィンター フェア(共進会)を視察した際に、意気投合した有志3名(置戸町~小山勇樹さん、端野町~深田英明さん、興部町~渋谷法幸さん)が、その共進会のグランドチャンピオンの受精卵を共同で購入することになりました。

購入にあたり結成したシンジケート(団体)が「ローヤル チャンピオン プロジェクト」。受精卵3個を購入し、それぞれが1個ずつ移植し、産子を得ましたが、雌牛が生まれたのは小山さんのみでした。小山さんが自牛舎で飼養管理することとなり、共有牛である「RCP チャンピオン J シドニー ET」が、全道のホルスタイン雌牛約82万8000頭の頂点に立つ快挙「グランドチャンピオン(チャンピオンの中のチャンピオン)」を得るに至ったのです。



## 予想外の受賞にびっくり!

全道共進会を終えたばかりの9月6日、プロジェクトの小山勇樹さん(左)と深田英明さん(右)がJA事務所を訪れ、西川組合長など常勤役員に受賞の喜びを報告しました。

グランドチャンピオン牛は7月3日に分娩したばかりで、小山さんは「乳量が多く出すぎてしまうので、乳房を張らすことに気がついた」と、当時の苦労を話してくれました。そして、「まさかの受賞に一瞬、頭は真白になった」と喜びを話した上で、「仲間との食事も我慢して餌やりを頑張った。これまでの苦労や一緒に過ごした仲間のことを思うと涙が出てくる」と、感慨深げに報告していました。

また、深田さんは「この荣誉ある賞が、きたみらい地域の酪農家の励みになれば嬉しい」と話してくれました。

# 特集

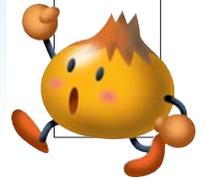
## 平成23年度

# 玉葱と馬鈴薯の 需給動向



本格的な収穫の秋を迎えましたが、不順な天候が続いた9月。このような環境の中でも生産者の皆さんは、早朝から陽が沈むまで玉葱と馬鈴薯の収穫作業に取り組まれました。同時に、本格的な販売に入りましたが全道の生産動向、消費地情勢、販売対応などの巡る状況を特集でお知らせします。

# 玉葱



## 全道の生産動向は

### 天候不順が重なり 平均反収下回る

全道では382t減少し1万1846t(雹害除く)。きたみらいの作付面積は、3993t(雹害除く)となりました。

植付け開始は昨年同時期に始まりましたが、4月下旬から5月連休にかけての断続的な降雨により、作業は一時中断しました。特に上川・空知では、連休以降も断続的な降雨によって、作業は5月下旬から6月上旬と大幅に遅れました。

オホーツク管内では、5月中旬より天候が回復したこともあり、生育は順調に推移しましたが、6月10日雹害以降の断続的な降雨により生育は一時停滞しましたが、その後、天候が回復し、植付け遅れによる生育遅延を挽回することができました。

一方、上川・空知では早魘傾向の上、植付け時期も遅れたことから生

育は極端に抑制されました。

7月の中旬から8月上旬にかけて、気温上昇及び無降雨により肥大期に厳しい生育環境となりました。

この様な中、8月上旬には中晩生が短期間で倒伏。その後も高温が続き、肥大は抑制されました。

収量は全道一円で倒伏が早く進んだことにより、8月20日時点での全道平均反収は4690kg/10aと過去平均を710kg下回る見込みとなっています。

当JAの平均収量は、8月現在5690kgを見込んでいます。出荷開始はほぼ例年通りとなりましたが、9月10日までの需給対策・出荷計画は達成し、選果量も計画通りに進んでいます。品質は本年の高温から、色沢が良く、汚れ玉は少ない状況で総じて良好です。

## 消費地情勢は

### 良好な荷動きと スムーズな販売

8月中旬より、北海道産(極早生種)の販売が開始されました。

本年産については、市況低迷による府県産出荷遅れにより出回り量の増加及び府県産品質劣化、震災によ

るエネルギー使用制限など懸念材料がありましたが、北見管内品質良好により、北海道への切り替えもスムーズに進みました。

全国的な高温で末端消費が芳しくない状況で需要が心配されましたが、全国的な供給不足により段階的に価格が浮揚した経過にあります。

北海道産のスタートは、品質良好で乾腐病や芯腐れの発生も少ないことから、荷動きは良くスムーズな販売が行われました。

このことは、上川・空知の収穫時期の断続的な降雨により出荷量が少なく、十分に消費地へ供給出来なかったことが要因と考えられます。現状は品薄状況下であるため、市況も100円/kg前後の販売となっています。

### 輸入玉葱は

## 北海道産との

### 競争が懸念

①日本国内においては、昨年と違い府県産の出回り量は多いもの、中国産については前年並みの輸入量となっています。

②現状、山東省が中心ですが、価格については引き続き安価で、前年を下回る水準となっています。

作付生産概要 (8月10日現在)

年度	区分	作付面積 (ha)	10a収量 (kg)	収穫量 (t)	商品化量 (t)
H 23	全道合計	11,846	4,690	555,240	504,250
	札幌	371	2,910	10,800	9,220
	岩見沢	2,166	3,190	69,170	56,860
	旭川	2,484	3,680	91,480	80,140
	帯広	348	4,940	17,190	14,280
	北見	6,385	5,690	363,140	340,710
	その他	92	3,750	3,460	3,040
H 22	内きたみらい	3,993	5,698	227,485	215,481
	全道	12,228	4,630	566,240	481,620

系統販売計画 (8月10日現在)

年度	食				加工向け JA独自含	年産合計
	合計	年内計画	年内進捗	年明計画		
23年産	341,760	210,500	62%	131,260	87,140	428,900
22年産	286,530	179,500	63%	107,030	120,840	407,370

山東省

○皮付き 35～38円/kg (前年 45～50円/kg)

○ム キ 37～39円/kg (前年 50～60円/kg) ※いずれも浜渡し

③ 今後は山東省から甘粛省への切り替えによる輸送コストの上昇から日本向けオファー価格は上昇する見込みですが、それでも40円/kgをやや上回る程度であり、大幅な変動は考えがたい状況です。

【アメリカ産】

① 本年の作付面積は、全米トータルで前年比99・4%と、ほぼ昨年並みとなっています。

② 作柄については、春先から夏にかけて低温、多雨の地区が多かったため、2週間程度生育遅れで推移していますが、収量面、品質面ともに影響がない模様です。

③ 日本向けオファーも徐々に本格化しつつあり、円高の影響から国産と比較しても割安な価格状況です。  
○ジャンボ 1150円/22・7kg  
○Sジャンボ 1100円/22・7kg  
○ミディアム 1100～1150円/22・7kg

① 成約についても順調に進んでいる状況であり、北海道産との競合が懸念されます。

【今後について】

① 輸入品については、中国、アメリカ

力の作柄が順調なこと、円高が続いていることを踏まえると、日本向けへのオファー価格が高騰することは考えがたい状況にあります。

② 加工向けユーザーからは、国産原料の十分な供給を求められていますが、北海道産が対応出来ない場合は、昨年以上に輸入にシフトしやすい環境下にあります。

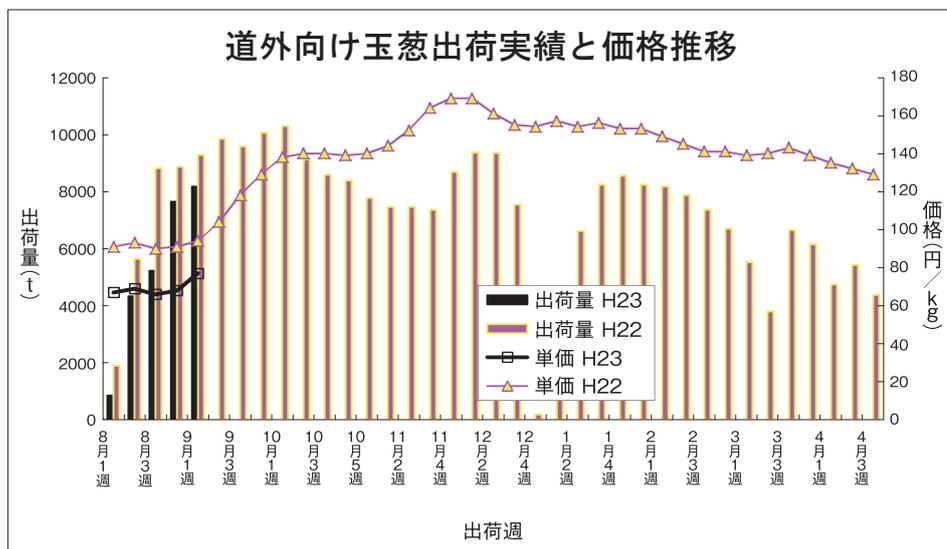
③ 前年から本年についても牛丼業界、冷食メーカーを中心に北海道産から輸入品へのシフトが進んでおり、本年についても加工向けユーザーが求める対応が出来ない場合は、来年度以降の北海道の販売キャパシティの減少は避けられないことが見込まれます。

販売対応は  
需給調整の  
取り組み

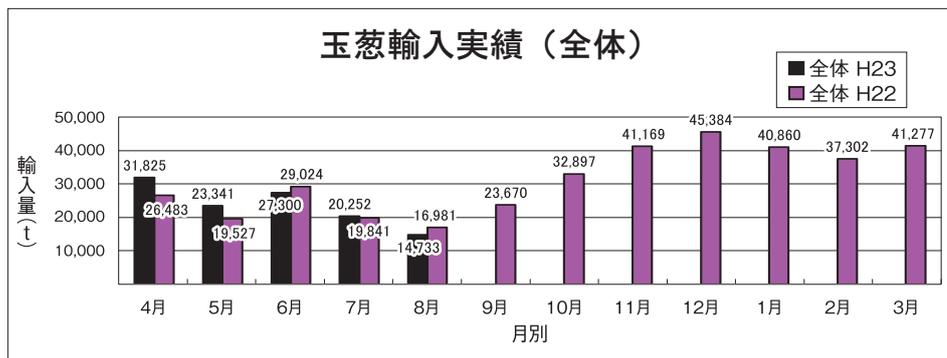
【生食向け玉葱】

① 需給調整（早出し）対策の1万9000トの実施（販売環境整備のため、2万4000トから修正）。  
② 生食流通量34万1760トの計画出荷、需給コントロールの実施。  
③ 販売環境に応じた各種対策を講じながら、有利販売に取り進める。

道外向け玉葱出荷実績と価格推移



玉葱輸入実績（全体）



④ 厳選出荷の徹底。  
【全道共計玉葱】  
① 全道共計加工対策については、8万7140ト（JA独自含む）として取り進める。

【北見地区共計玉葱価格】

① 9月15日現在、北見地区共計1、



# 食用馬鈴薯



## 生産動向は

### 生育遅れで

### 収量減

道内の本年産馬鈴薯の作付面積は2万9121ha。前年に対し705haの減少。年々、作付面積の減少が続いている男爵に加え、特に加工品種で大きく減少しました。

本年産の播種作業は、北見地区では順調に融雪が進み、例年より早めの作業開始となりましたが、その後の低温と周期的な降雨から畑作全般で作業が後ずれし、平年比1週間程度遅れて終了しました。

他産地では、2〜3週間以上の遅れとなった地域もあり、道内全体で大きくつまずいた今季のスタートとなりました。

播種後、5月の低温により萌芽が遅れたものの、6月以降は順調に生育し、7月上旬では平年並みまで回復しました。しかし、7月下旬以降の早魘と8月の高温により塊茎の肥大は緩慢になり、玉つきは多いものの総じて小玉傾向となりました。

全道的に見ると産地間の生育差が大きく、北見・十勝は概ね良好の中、生育遅れが回復せずに収穫期を迎えた産地もあり、生産量の低下が予測されています。

全道平均で男爵は、10a当り収量3120kgと平年を大きく下回る見込みとなっています。北見地区は3200kgを見込み、主産地の中では比較的高い水準となりました。

品質面では、商品化率は高い状況にあります。小玉傾向にあり、収穫期の断続的な降雨の影響から腐敗や粉状そとか病の多発が懸念されます。

## 需給の見通し

### 震災影響による

### 消費低下懸念

需給環境は、九州産（鹿児島・長崎）や静岡産において天候不順による出荷の後ずれ、品質の低下に加え、関東近在産地（千葉・茨城）の豊作による供給過剰から、市況は7月末まで低迷が続きました。

8月に入り、府県産出荷量の減少と道産の出遅れにより市場回りは少なく、市況も回復し、L1500円中心でのスタートとなりました。道産スタート以降も天候不順に加

え、台風の影響により収穫は大きく後ずれしており、出荷量が伸びない中で市況は堅調に推移しています。

しかし、馬鈴薯全体の生産量は少ないと予測されていますが、収穫遅れによる品質の低下など不安要素が多く、販売環境は楽観視できません。

加工馬鈴薯の販売環境は、震災・節電などの影響によりコロッケやポテトサラダ業界、チップス業界における末端消費の低迷、供給不足の年産が続いたことに加え、本年産の生産量が平年を下回ることから、加工向け原料の供給不足が見込まれます。

## 販売対応

### 市場価格の

### 維持と浮上

府県産地の後ずれと豊作基調の中で、全道の早出し出荷は、生育遅れにより出荷が後ずれ。さらに猛暑の影響から荷動きが非常に悪いことから、環境の悪化を回避するためS規格を8月22日、M規格は9月1日より出荷停止を行い、用途転用による販売環境の整備を図りました。また、本年産の3Lは小玉傾向で発生量が少ないことから、市場出荷を行うなど有利販売に努めています。

平成23年産 道内男爵出回見込み(9/20現在)

項目	H23年産	H22実績	5カ年平均
作付面積 <sup>(ha)</sup>	9,021	9,152	9,689
10a当り収量 <sup>(kg)</sup>	3,120	2,900	3,220
生産量 <sup>(t)</sup>	282,220	265,460	312,160
商品化量 <sup>(t)</sup>	207,860	194,580	226,880
うち系統扱い <sup>(t)</sup>	180,390	164,320	191,680
ホクレン生食向 <sup>(t)</sup>	94,350	86,510	100,770
ホクレン加工向 <sup>(t)</sup>	53,470	50,340	54,550

平成23年産 馬鈴薯加工向試算(9/20現在)

項目	男爵	メークイン	その他	合計
供給計画 <sup>(t)</sup>	53,470	5,760	243,940	303,170
ユーザー計画 <sup>(t)</sup>	71,400	5,670	261,450	338,520
差 <sup>(t)</sup>	-17,930	90	-17,510	-35,350

今後に向けては、消費地の気温低下に伴う需要増加の一方で、収穫遅れによる出荷の集中を回避すべく、柔軟な出荷コントロールなどの対応を図り、市場価格の維持と浮上に努めます。

さらに需要動向及び市場からの要望を的確に捉え、積極的に応えた中で、きたみらいブランドの向上を目指して取り組みを進めて参ります。

# 収穫体験で 食と農の大切さ学ぶ

～ジュニア4Hクラブ  
収穫体験に38人参加～

AINONAI

相内



▲大き〜い!と声を出しながらジャガイモを掘る会員

相内地域ジュニア4Hクラブ支援  
父母の会（北町靖会長）は9月11日、  
会員22人と父母16人が参加して、タ  
マネギやジャガイモ、ニンシンの収  
穫体験を行いました。  
植え付けから収穫、食べるまでの  
一連の作業を体験する中で、会員に  
食と農の大切さを伝えることを目的  
に、毎年実施されています。

収穫した作物は、6月5日に会員  
が植え付けたもので、湿害の影響か  
ら収量が少ない作物もありましたが、  
北町会長は「来年はいっぱい収穫で  
きるようにがんばろう!」と、会員  
に呼び掛けました。  
収穫した野菜の一部は保管し、11  
月の収穫祭で豚汁などに使用する予  
定です。



▼1000匹のヤマベが用意された塩焼きコーナー



OKETO

置戸

# 地場の味覚と 多彩なイベント楽しむ

～もっと馬力だすべえ祭  
大勢の人が来場～

置戸町の秋の風物詩「もっと馬力  
だすべえ祭」が9月23日、町公民館  
広場で開かれ、町内外から訪れた大  
勢の人が特産の篠原牛肉やヤマベの  
塩焼きなどを満喫しました。町や当  
JAの置戸地区事務所などでつくる  
実行委員会が主催し、26回目。  
タマネギやバレイシヨの詰め放題  
コーナーは、開始前から大勢の人が

詰め掛け、用意された各1・5tが  
たちまちなくなりました。イベント  
も大きな力ボチャの重量当てクイズ、  
子どもの魚つかみどりなど多彩。  
馬力うどん早食い大会には子ども、  
女性、男性の部に合わせて30人が出  
場し、熱々のうどんを口にはお張り、  
汗を流しながら優勝を目指していま  
した。

## 詰め放題コーナー 大勢の消費者が

～第6回農業祭に  
300人が来場～

ONNEYU



▲人気が高いタマネギの詰め放題コーナー

温根湯地区農業祭実行委員会は9月3日、「第6回農業祭」を開催しました。当日は降雨の影響で、駐車場からJA地区事務所と資材倉庫に会場を移して行われましたが、町内外から約300人が訪れました。

農業祭は、地場農畜産物の販売普及と食の安全・安心のアピール、消費者と生産者の交流を目的に開かれています。

JA女性部の野菜市コーナーでは、朝採りのキャベツ、レタス、ナス、カボチャなどの新鮮な野菜が販売されたほか、タマネギ、ジャガイモ、ニンシンの詰め放題には大勢の人が並び大盛況となりました。

その他に牛乳の無料配布、紅白のもちまき、カボチャ重量当てクイズ、お楽しみ抽選会なども行われました。

東西

▼黄金色に実った稲を刈り取るコンバイン



KAMITOKORO



## 質、量ともに手応え 2年連続の豊作か

～もち米収穫  
例年より1週間早く～

上常呂ライス組合(河野栄組合長)は9月13日、例年より1週間ほど早い「もち米」の刈り取り作業を始めました。

広郷の相原義一さんは、今年から「きたゆきもち」を7・4鈴栽培し、「品質は上々。収量も昨年より多いのでは」と手応えを感じています。

長年作付けてきた「はくちょう

もち」から、冷害に強い多収性品種の「きたゆきもち」が昨年より3・5倍の増反。今年、上常呂地区で作付けされているもち米全体の62%に推移しています。

夏場の高温多湿により「いもち病」が発生し、収量減を心配しましたが、生産者の管理作業の徹底により、2年連続の豊作が見込まれます。

# 秋晴れの中 楽しくプレー

～年金友の会  
パークゴルフ大会に38名～

KITAMI



▲パーを目指して第4打を打つ会員

J Aきたみらい北見支店年金友の会は9月27日、川東河川敷で第5回パークゴルフ大会を行い、会員38名が参加しました。  
朝から気持ちの良い秋晴れの中、福田博道会長が「今年最後の大会。日頃の疲れを忘れてがんばろう！」と挨拶。3～4人ずつの9チームに分かれ、コースに向かいました。

会員の皆さんは、ピンクや青などカラフルなウェアに身を包み、「いいぞー」「おしいー」などと声を掛け合いながら、元気はつらつでプレーをしていました。  
5月から毎月1回行われていた大会も、今回が最後。今年も楽しく交流を深めることが出来ました。



▼デントコーンの稈長などを測る会員



KUNNEPPU



# 良質粗飼料の 確保に向けて

～訓子府町酪農研究部会  
デントコーン収量調査～

町内の若手酪農家で作る同町酪農研究部会は9月16日、同部会の竹本竜也会長のデントコーン試験畑で、デントコーンの収量比較調査を行いました。粗飼料の原料価格の高騰が続く中、良質な粗飼料確保を目的に行っているものです。  
同部会員やホクレン、J A職員、育苗メーカーなどの担当者13人が参

加。収穫を間近にした「チペリウス」など13品種を刈り取り、稈長（かんちょう）や熟度などを調べました。さらに乾燥させた後、乾物収量も測定されます。  
竹本会長は「今年は天候にも恵まれ、良質な飼料が収穫できそう。調査結果は、来年以降の種子選択の参考にしたい」と話していました。

# 玉葱と馬鈴薯の 選果施設を見学

～北見市内の  
小学校3年生4校が～

TANNO **端野**



▲玉葱選果場を見学する北光小の3年生

当JAの端野地区の玉葱と馬鈴薯選果施設に9月6日、市内の北小学校を始め4校が施設見学を訪れました。総合学習の一環として各学校が北見の農産物に理解を深めるために、収穫から選別、箱詰めの様子を見て学ぶことを目的にしています。児童は、コンテナに入った玉葱や

馬鈴薯が選果されて、ダンボールに入るまでの作業工程を熱心に見学。担当職員が説明する1日のコンテナ選別数や箱詰めされる数などを熱心に聞き入っていました。また、場内で動くオートメーションの各種機械、忙しく走るフォークリフトなどをジッと見入っていました。

**東西**

## ▼快調に進むデントコーンの収穫作業



RUBESHIBE **留辺蘂**

# 平年並みの 収量確保に期待

～「すす紋病」発生  
品種変更も視野に～

コントラ瑞穂組合（井上啓一組合長）は9月13日、デントコーンの収穫作業を始めましたが、ほぼ例年並みの開始となりました。自走式フォレーシハーベスターで刈り取りとられ、破碎されたデントコーンは、10tダンプに積み込まれ、次々と各個人の畑からサイロへと運

ばれていきました。井上組合長は「当地区では、昨年に引き続き「すす紋病」が発生。平年並みの収量は確保出来そうだが、関係機関とも協議しながら品種を変えるなど対応したい」と話してくれました。同組合の本年度の作業面積は、約200haを予定しています。

## 思い出の写真

### ハッカのはさ掛け下ろし

この写真は昭和49年、はさ掛けされているハッカを下ろしている時に撮った1枚の写真です。

五十嵐さんは、この年に奥さんの真知子さんと結婚。この作業には、真知子さんの妹も手伝いに来てくれ、4人で作業を行いました。ハッカの栽培はこの年から始め、1、2畝ほどの面積を作付けしていました。

以前は端野町内でも、ハッカの栽培は盛んでしたが年々減少し、この頃は北登地区のみとなり、10戸ほどの農家が栽培に取り組んでいました。

ハッカは90~100センチほどに成長し、収穫作業は手刈りで行うことから大変な重労働でした。五十嵐さんは「価格は、決して高いとは言えなかった」と話してくれました。

現在、北登地区で稼働している「しそ蒸留施設」は、ハッカの蒸留施設でした。ハッカ栽培も年々減少し、耕作ゼロになり、10年ほど使用していなかった施設が、しその蒸留施設として使われています。

いろいろな思い出が詰まった37年前の写真をアルバムから外し、奥さんと二人で当時の農作業を懐かしそう見つめながら話してくれる姿が印象的でした。



温根湯地区・大和

本田 啓明さん(41歳)



▲20年前に、糸のこを使って完成させた作品



きたみらいの  
ホープさん

覚えることに  
集中!!

相内地区・豊田

川岸 靖浩さん(23歳)

靖浩さんは、水稻、秋小麦、てん菜、馬鈴薯、南瓜を栽培している川岸一三さん、慶子さん夫妻の次男で就農1年目です。

趣味は?

ドライブです。

理想の女性?

芸能人でいうと加藤夏希さんです。

結婚はいつ頃までに?

今のところ考えてはいませんが、時期が来たらと思っています。

好きな食べ物、嫌いな食べ物は?

豚のしょうが焼きが好きです。嫌いな食べ物は特にありません。

休日の過ごし方は?

家でインターネットをしたり、友達とカラオケに行きます。

就農してみて感じたことは?

初めての体験ばかりで、全てが難しく、今は覚えることに集中しています。

11月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部端野支部の?さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。



# 私の パートナー



今月号の「私のパートナー」は、「乳牛共進会に参加したい」と話し、今年の6月で結婚10年を迎えた有澤広宣さん、昌子さん夫妻を紹介します。

## 乳牛共進会に 参加したい

上常呂地区・常川

有澤 広宣さん(35歳)

昌子さん(34歳)

**Q**ご結婚されたのはいつですか？

2001年の6月です。

**Q**知り合ったキッカケは？

友達の紹介で知り合いました。

**Q**初めて合った時の印象は？

広宣さん「当時の自分はピンク色の長髪だったので、悪い印象を与えたと思います」

昌子さん「父の前には連れて行けない……」

**Q**結婚を決意した大きなポイントは？

広宣さんが実習生として入り、結婚に至りました（その時は髪を黒く短くしました）。

**Q**子ども何人？

今、3人おります（もう満足です）

**Q**1週間、休みがあったら何をします？

実家のある青森に家族全員連れて行きたいです。

**Q**どんな家庭を築きたいですか？

笑顔が絶えない、うるさいくらい明るい家庭。ですね。

**Q**今後の目標、あるいは夢を？

今年、タマネギを増やしたので、次は牛を増やして規模拡大を図って共進会にも参加したいです。



【写真説明】

五十嵐さん家族と、奥さんの真知子さんの妹と4人で行われたハッカのはさ掛け下ろし。

端野地区・北登

五十嵐 武さん(60歳)



## マイ テイスト

My Taste

## 木工細工

本田さんの趣味は「木工細工」です。子供の頃から細かい作業が好きで、特に木を使った作品を作るのが好きだったそうです。

写真の木彫りの作品は、20年ほど前に作成したものです。材料は全て同じ原木(ならの木)で、額も本田さんが作成したものです。

デザインの元は、図書館にあった切り絵。コピーをして下書きをした後、糸のこを使って切り込みました。糸のこ以外にも、サンドペーパーやペンルーターなど細かい色々な作業を行って完成します。

作り方は独学で、今までに作成した作品は、結婚のお祝いなどで友人にプレゼントしてきました。

本田さんは「絵だと表現出来ない物も立体だと表現出来るものもあります。最近は時間がなくて作っていませんが、時間に余裕があったら作ってみたい」と意欲的に話してくれました。





# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 9月号クイズの当選者

9月号のまちがいさがしの答えは「2. 5. 8. 10. 11」でした。正解者40名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの西川組合長にお願いしました。

( )内は支所名

- ・福田 和彦さん(温根湯)・笠野 敏明さん(訓子府)
  - ・田中 利枝さん(留辺蘂)・高橋美智子さん(相内)
  - ・穴戸 正司さん(置戸)・熊野 智文さん(上常呂)
  - ・堀口 拓斗さん(訓子府)・田中 仁美さん(北見)
  - ・小坂 正枝さん(訓子府)・富樫 悟さん(端野)
- 以上の方々には、JAきたみらいのレトルトカレー「玉ねぎと牛すじのカレー」を2箱プレゼントします。



## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、市内菓子店エル・ドールの白花豆を使った「Re.Bまかるん」を6個プレゼントします。

**い** つも楽しく読んでいます。寒くなってきたので風邪などひかないよう酪農業を頑張りたいです。根菜の収穫が楽しみです。

(温根湯地区・苫米地タツ子さん)

日増しに温度も下がり、上着も1枚1枚と増えてきます。風邪をひかないように注意しましょう。根菜は、どんな物を作ったのですか？

**暑** かった夏も終わり、「秋だなあ」と感じられる季節となりました。収穫作業が安全に終われることを願っています。

(相内地区・高橋美智子さん)

今年、きたみらい管内で農作業事故が増えています。決して焦らず、家族内で注意しあい、収穫作業を乗り切ってほしいですね。

**ほ** くはカレーが大好きです。きたみらいのレトルトカレーはおいしいです。

(温根湯地区・水野 舜也さん)

カレーはどんな季節に食べてもおいしいですね。「まちがいさがし」に応募いただきましたが、残念な結果となりました。次回も応募して下さいね。

**毎** 月、楽しみにしています。知人が出ていたり、探したり、そんな楽しみもあります。編集委員の皆さん、頑張ってください。

(北見地区・黒須 美保さん)

応援メッセージありがとうございます。今年も11月号と12月号を発行して終わりですが、期待に沿うように頑張りしたいと思います。

青年女性 ネットワーク

ミニ運動会で会員交流

フレミズ8支部統一活動

11/18

8支部の会員が交流を深めることを目的に、毎年秋に統一活動「会員研修会」を開催しています。

昨年実施した「ミニ運動会&懇親会」が大好評を得ました。今年は、内容をより楽しく、参加しやすい時間帯で開催することを目的に役員会で協議し、次の通り決定しました。詳細については後日、各支部を通じて案内致しますので、各地区の会員同士が誘い合って参加下さい。

○日 時 11月18日(金)

午前10時から

○会場 北見市上ところ/市民

トレーニングセンター

○内容

■ミニ運動会(予定) ■

【競技種目】

①ミニ菓子食い競争

②新聞リレー(新)

③フラフープリレー(新)

④綱引き

⑤風船運びリレー

⑥ナイスキャッチ玉入れ(新)

⑦作業着お着替えリレー

○その他

・当日は託児所を開設



▲昨年の競技のひとつ「みんなでレッツゴー」

・上位チームに賞品を用意(参加賞もあります)  
・ミニ運動会終了後、上常呂ミニユニティプラザで懇親会開催。

来年もきれいな花を

ひまわりのすきこみ作業

ています。

JAきたみらい青年部(中村圭一郎部長)は9月7日、市内美園のアピール看板圃場で、今年の役目を終えたひまわりをすきこみ作業を行いました。

アピール看板は、きたみらい産の農畜産物を消費者にアピールすることを目的に、平成16年に設置されました。同青年部では、看板をより一層引き立てるため毎年、緑肥を蒔い

6月10日に播種したひまわりは、お盆前から咲き始め、約1ヶ月間道行く人々の心を和ませてくれました。作業は中村部長と相内支部の森谷支部長の協力のもと行われ、1時間ほどで終了しました。

青年部では、本活動を今後も継続し、きたみらい農業をアピールしていきます。



▲すきこみ作業を行う相内支部の森谷支部長

JA青年部・女性部・フレミズ

年内活動予定

青年部

- 第41回オホーツクJA青年部研修大会  
○とき 11/17(木)  
○ところ 温根湯温泉「ホテル大江本家」
- 農林水産省職員ファームステイ事業(予定)  
○とき 11/24(木)~26(土)  
○ところ JAきたみらい事務所ほか
- 第60回全道JA青年部大会・北海道農協青年部協議会創立60周年記念式典  
○とき 12/7(水)~8(木)  
○ところ 札幌パークホテル

女性部

- JA北海道リーダー研修・家の光大会  
○とき 11/10(木)~11(金)  
○ところ 札幌市「シャトレーゼ  
ガトーキングダムサッポロ」
- オホーツクJA女性部長・副部長・事務局合同会議  
○とき 12/6(火)~7(水)  
○ところ 網走市「網走湖荘」

フレミズ

- オホーツクJAフレッシュミズ部員研修会  
○とき 12/5(月)~6(火)  
○ところ 網走市「網走湖荘」



# 青年女性ネットワーク

# 幼なじみ3人グループ。ミニ野菜地元で好評

訓子府町の農業後継者3人でつくる生産グループ「STNベジタブルプロダクション」の栽培するミニ野菜が、地元消費者に好評を得ています。ブランド名は「プチエコ菜（な）」。北見市内のコープさっぽろ三輪店の一角に販売コーナーを設置。支援する北見地方公設地方卸売市場・株マルキタも「野菜栽培に取り組む姿勢が一生懸命」と評価しています。

## 将来は農作業受託も

3人は町内の隣接地区（弥生・福野）に住み、学年は違いますがスクールバスで地元の小中学校に通った幼なじみです。代表の柴田諒さん（30）は、東京のシステムエンジニアからのウターンで就農6年目。広報・会計担当の谷弘人さん（30）は5年目で、札幌の学習塾講師からのウターン。技術栽培担当の中村裕一さん（32）は、道立農業大学卒業後に就農して13年目。それぞれ小麦、てん菜、パレイシヨ、タマネギ、メロンなどを栽

培しています。名字の頭文字からグループ名を付けた3人は「今までの農業から脱却して、新しい農業スタイルの可能性にチャレンジしたい」という思いから、2009年秋にグループを結成。翌年から本格的にハクサイ、ニンジン、キャベツ、ブロッコリーなど7品目のミニ野菜の栽培に取り組み、今年1袋（1品）を100円前後で販売しました。ミニ野菜は、出回りの量が少なくマイナー作物ですが、小さいので新鮮

なうちに食べ切ることができ、食べ残しやゴミの減量にもなります。さらに皮や根、種、芯まで食べられる物が多いので、栄養素が高く調理時間も短縮できる点に着目して導入しました。今季は、レッドキャベツやレタスにも挑戦しました。今年、露地栽培のチングンサイが6月の降雹で壊滅的な被害を受け、出荷ゼロとなりました。ハウス栽培ではコナガが多発。防虫ネットを張るなどの対策を講じましたが、ハクサイが被害を受けて減収。

しかし3人は落ち込むことなく、青虫やアブラムシが嫌う忌避剤や生物農薬を10種以上も試験を行いました。また木酢液や竹酢液などを含め、来年への対策を今から重ねています。将来はグループで従業員を雇用し、農業機械のオペレーターを地域に派遣することを考えています。作業を請け負うことで、担い手不足の課題解決も目指しています。ミニ野菜づくりは、その目標に向



▲ミニ野菜の栽培に取り組むSTNベジタブルプロダクションのメンバー。左から中村裕一さん、柴田諒さん、谷弘人さん

▼左の白菜は通常のサイズ。その横がミニの白菜とレッドキャベツ



けた基盤と実績づくりと位置付けられています。設立当初から種子、パッケージ、シールなどを支援している株マルキタ野菜部の岡本賢和部長も「目標達成に向け、ぜひ頑張ってください」と期待を寄せています。

# タマネギ列車存続

## JR貨物 正式表明

## 来年度から2年間

JR貨物（本社・東京）の惟村（これむら）正弘総括執行役員など4人が9月28日、当JAのセンター事務所を訪れ、JR北見駅と札幌貨物ターミナルを結ぶ臨時列車「タマネギ列車」を来年度から2年間、引き続き運行する方針を伝えました。全線のうち北見―北旭川間の運行を来年4月で廃止するという同社の意向が伝えられていた中、地元関係者は安堵しています。

大坪常務、山本常務、佐藤参事などに、「来春廃止」という問題で心配かけたことを冒頭にお詫びし、「東日本大震災の影響が残り、経営は厳しい状況だが、あと2年間は延長したい」と表明。「鉄道会社だから、やめることだけが目的でない」とも述べ、産地に協力する姿勢も見せてくれました。

ネギ列車の必要性を重ねて強調しました。廃止検討の理由のひとつになっていた老朽化ディーゼル機関車の整備態勢に、一定のめどがついたことが当面の存続につながった様です。

昨年1年間、オホーツク管内から札幌や本州に農産物など25万3000トを輸送した大動脈の延命に、当JAのきたみらい玉葱振興会の会田貢会長は「農家にとっての大きな痛手を防ぐことができ安心。しかし、2014年春以降は未定。オホーツク圏一体で新たな取り組みを進めなければならぬ」と訴えていました。



▲ 坂下専務（手前右）に2年間の運行継続を伝える惟村総括執行委員（左）

# 北見のおいしい食材に舌鼓

## 北見地産地消フェスタ

地域産業の活性化を目指した「北見地産地消フェスタ2011」が9月3日、JR北見駅南多目的広場で開かれ、多彩な農産物を買求める大勢の市民でにぎわいました。

消費者と生産者が顔の見える関係づくりを通じて理解を深め、地元産品の消費拡大を図ろうと、北見市地産地消推進委員会が昨年引き続き開いたものです。

オープニングセレモニーで山川尚子会長は「北見地方は食べ物の宝庫。地域を元気にするためにも、地元住民が地元産産物を食べてほしい」と来場者に呼び掛けました。

直売ブースには北見市、訓子府町、置戸町の生産者、関連企業など30団体が出店。北見産タマネギ、バレイシヨ、常呂産ホタテ、毛ガニなどを安価で提供。JAきたみらいも赤と

白のタマネギなどの野菜やオリシナルカレー、ドレッシングを販売した他、牛乳の無料配布も行いました。

飲食ブースでは北見産タマネギの餌で育てたオニオンポークの丸焼きや、オホーツク塩焼きそばコーナー



▲ 豊富な魚介類で作られた「パエリア」。実においしい！

に長い列ができていました。

# 生産者とシエフが交流

## 東京の レストラン「つばめグリル」来北

（株）つばめ（東京）直営店のレストラン「つばめグリル」のシエフ6人が9月8日、当JAを訪れ、「生産者とシエフの交流会」を開き、生産者など関係者80人が参加し、地元産の農畜産物などを使った料理を楽しみました。

つばめグリルは、都内でレストラン、喫茶店、惣菜店など26店舗を展開。当日はシエフが、食材を供給す

る農家などの皆さんと、新たなメニューの開発をテーマに交流しました。

シエフ6人は、北見地方のタマネギやバレイシヨ、キャベツに加え、ホタテやシマエビ、シジミなどを使った料理13品を振る舞いました。

同レストランの石倉知忠副社長は「旬の食材で料理を作り、生産者の皆さんに味わってもらうことは最高の喜び」とあいさつ。



▲地場の食材で作られた料理を皿に盛る参加者  
写真は下段の「坊ちゃんかぼちゃのポロネーゼグータン」



当JAの加藤孝幸会長は「地元の食材で作られた料理を味わい、次の糧にしたい」と抱負を述べました。同レストランにタマネギなどの加

工品を供給する株グリーンズ北見社員の小野原忠好さんは「黒毛和牛の網焼きが柔らかくておいしかった」と話してくれました。

# バレイシヨの 新品種味わう

## 生協組合員と収穫体験交流会

JAは、コープさっぽろ北見地区本部と協力して9月17日、バレイシヨ新品種「スノーマーチ」の収穫体験交流会を行いました。

同地区生協組合員の家族など16人が参加して、「スノーマーチ」の栽培や貯蔵法などを学びました。

北見市内の同本部三輪店と連携して昨年10月から、店内に「きたみら

い野菜コーナー」を設置しました。

これを機に生産者と消費者の交流を一層深めようと、昨年に続く2回目の開催です。

参加者の皆さんは、訓子府地区の北菜で「スノーマーチ」30坪を栽培する南博敏さん宅を訪問。収穫適期を迎えた畑で、JA職員が生育状況などを説明しました。



▲家族でいも掘りを楽しむ片橋さん家族

その後、スノーブーツを履き、芋掘りに挑戦。子ども2人と参加した清里町の片橋かおりさんは「私たちの町はでんぷん原料用が主体なので、今日の収穫を楽しみにしていました」と話してくれました。

収穫が済んだ後は、当JAの訓子府地区事務所「スノーマーチ」を使ったカレールイスを味わいました。



▲スノーマーチの収穫体験に参加した生協組合員のみなさん

## ACTION

## 走って歩いて食材集め

「たんのカレーライスマラソン」  
道内外から200チーム参加

ユニークなスポーツイベント「第26回たんのカレーライスマラソン」が9月18日、市内端野町の屯田の杜公園で行われました。

走ったり歩いたりしながら食材を調達し、ゴールした後にカレーライスを作って食べる農村ならではのイベントです。地元や札幌、東京などから200チーム、合計800人が参加。応援などを含め約1000人が集まりました。4人1組で2<sup>キロ</sup>から5<sup>キロ</sup>まで4コースに分かれてスタートし、役割を分担して農家の畑からタマネギやバレイショ、ニンジン、豚肉、カレールーを調達します。

完走した選手たちは汗だくになりながら、用意したコンロと鍋でカレーを作り始めると、香ばしいカレーの香りが会場を包んでいました。

職場の仲間4人と参加した東京都渋谷区の松田紀子さん(38)は、2<sup>キロ</sup>を張る「イモコース」に挑戦。袋に詰めて「ゴールし、農村景色も



▲4<sup>キロ</sup>の「肉コース」が一齐にスタート。中にはユニークな衣装をして走る人もいました

空気も最高。どこまでも続く真っすぐな道に感動しました」と笑顔で話し、カレーづくりに励みました。

回会場では、北海道米販売拡大委員会と北海道米食率向上戦略会議が「ゆめぴりかブレンド」「ななつばし」「ふっくりんこ」の食べ比べ試食会も行いました。

各小学校の児童  
餅つき楽しみ

▲「実がいっぱい！」と刈り取った稲を見せてくれた5年生(9/20 置戸小)

今年の5月末から6月にかけて、田植えを行った6つの小学校を、J A広報誌「おひさまサラダ」7月号で紹介。児童が「たぐさんの実をつけてね」と願いながら植えた稲穂は、たわわに実をつけました。

置戸小学校5年生25人は9月20日、上常呂地区常川の河野栄さんの水田で、鎌を使ってもち米「きたゆきもち」の稲刈りを体験しました。同小の総合学習の一環で、昨年からは5年生を対象に植え付けから収穫までの体験を取り入れました。

河野さんから指導を受けた後、児童25人は稲刈りに挑戦。5人1組の5グループに分かれ、交代で刈り取

りや稲を束ねる作業を行い、「実がいっぱい」と歓声を上げていました。刈り取りを終えた若村竜之介くんは「たぐさんの実がついていてうれしかった。学校での餅つきが楽しみ」と話してくれました。刈り取った稲は同校で天日干しされ、年末に餅つきを行い、学校給食で全児童に振る舞われる予定です。

相内、東相内、南、上常呂、端野の各小学校とも10月上旬に稲刈りを終え、12月に餅つきを行って、収穫の喜びを分かち合う予定となっています。(収穫作業の写真掲載は、紙面の都合から4校とさせていただきます)

第8回

理事会報告

●平成23年9月30日(金)

9月30日、午前9時より第8回定例理事会が開催され、報告事項18件、議決事項7件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①内部監査（金融部門 貯金・共済）報告について
- ②組合員状況報告について
- ③財務状況報告について
- ④人事の発令について
- ⑤平成24年度職員採用について
- ⑥6月10日の降雹・集中豪雨被害の確定について
- ⑦平成24年度農業予算編成並びに税制改正に関する要望意見書の提出について
- ⑧作況調査（9月15日）報告について
- ⑨平成23年産玉ねぎ・馬鈴しょの選果状況について
- ⑩平成23年度JAきたみらい長いもまつり&収穫感謝祭について
- ⑪平成23年産玉ねぎの取扱方針について（全道共販）
- ⑫平成22年産もち米追加精算について
- ⑬平成23年産てん菜集荷計画について
- ⑭生乳生産状況及び個体取引価格状況について
- ⑮第15回北海道総合家畜共進会結果について
- ⑯第3次中期経営計画行動報告について
- ⑰「JAバンク基本方針」の変更について
- ⑱貸与被服の更新について

【議決事項】

- ①出資減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得について
- ③諸規程の改正について
- ④当組合との利益相反取引に係る取扱いについて
- ⑤9月2日～4日の大雨による被害状況について
- ⑥平成23年もち米概算金について
- ⑦平成23年産豆類の取扱に伴う理事との利益相反取引について



▲スタート前に参加者全員が揃って行われた準備体操



▲19人がエントリーして行われたカレーライス大食いコンテスト（手前の女性が9杯食べて見事優勝しました）



▲1年生から6年生の全児童で行われたはさ掛け作業（9/26 上常呂小）



▲刈りとられた稲が軽トラックにいっぱい(9/28 東相内小)



▲稲のはさ掛け作業に頑張る端野小の5年生(10/5)



## サンマのハーブパン粉焼き

【エネルギー346kcal・塩分1.8g・調理時間15分】

### 【作り方】

- ①Aは混ぜておく。
- ②サンマに軽く塩、コショウをして、全体にAをまぶす。
- ③フライパンにオリーブオイルを熱し、②を入れて、両面をこんがりきつね色に焼く。
- ④器に盛り、ラディッシュを添える。

### 【材料：4人前】

- サンマ（開いたもの）……………4枚  
 A 生パン粉……………1カップ  
 ニンニク（みじん切り）……………小さじ2杯  
 パセリ・青ジソ（みじん切り）…各大さじ2杯  
 塩……………大さじ1杯  
 オリーブオイル……………大さじ2杯  
 塩 コショウ ラディッシュ（あれば）

### メモ

好みでレモン汁をかけても。

—家の光2010年10月号料理カードから—  
調理：本谷恵津子



♥おいしいもの大好き!♥



## タラのカレークリーム煮

【エネルギー277kcal・塩分1.7g・調理時間20分】

### 【作り方】

- ①タラは両面に塩、コショウする。ジャガイモは皮をむいて7～8mm厚さの輪切りにし、タマネギは縦薄切りにする。
- ②①のタラを食べやすい大きさに切ってコムギ粉を薄くまぶす。フライパンにサラダ油大さじ1/2杯を熱し、タラの両面をこんがり焼く、取り出す。
- ③②のフライパンをさっとふき、サラダ油大さじ1/2杯を熱し、①のタマネギをいためる。しんなりしたらコムギ粉大さじ1杯をふり入れ、粉っぽさがなくなるまでいためる。水1カップとスープの素を加え、①のイモも加える。ふたをして弱火にし、7～8分程度蒸し煮する。
- ④③に②のタラを戻し、牛乳、カレー粉、酒を加えて3～4分煮、塩小さじ1/2杯強をふって味をととのえる。器に盛り、好みで粗びきコショウをふる。

### 【材料：4人前】

- 生タラ……………4切れ(400g)  
 ジャガイモ……………3個(450～500g)  
 タマネギ……………1/2個(100g)  
 顆粒鶏がらスープの素……………小さじ1杯  
 牛乳……………1カップ  
 カレー粉……………小さじ1/2杯  
 酒……………大さじ1杯  
 塩 コショウ コムギ粉 サラダ油

—家の光2010年12月号料理カードから—  
調理：武藤裕子

### 編集後記

・今年の収穫作業は、断続的な降雨の影響でタマネギ、バレイショ、水稻と各作物とも遅れ、特に、バレイショの後作物の秋まき小麦の播種作業が平年よりも遅れています。

・この様な中、各地区で農作業事故が多発しています。すでにJAから事故を防ぐチェックポイントを記した文書をFAXでお知らせしていますが、これからもてん菜の収穫、豆類の脱穀、秋起しなどの作業が控えています。是非、家族内で「安全運転で!」「エンジンを止めてから」「気をつけてね!」などの声を掛け合いましょう。

(堀 仁志)

### JAきたみらい概要

(平成23年9月20日現在)

- ・組合員数(正) 1,848人
- ・組合員数(准) 5,953人
- ・組合員戸数(正) 1,262戸
- ・貯金 98,808百万円
- ・貸出金 20,662百万円
- ・出資金 5,082百万円